

2016年度（平成28年度）

コース名 数学・情報数理学コース

領域名 応用解析領域

教員名 松井 宏樹

電子メール matui 理 math.s.chiba-u.ac.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会 合等	巻・ 号	頁	発行・発表 年等	掲載論文の DOI(付与され ている場合)
(1)	H. Matui and K. Matsumoto	Continuous orbit equivalence of topological Markov shifts and dynamical zeta functions	Ergodic Theory Dynam. Systems	36	pp. 1557–1581	2016	10.1017/etds.2014.128
(2)	H. Matui and K. Matsumoto	Full groups of Cuntz–Krieger algebras and Higman–Thompson groups	Groups Geom. Dyn. (印刷中)				
(3)	H. Matui	Etale groupoids arising from products of shifts of finite type	Adv. Math.	303	pp. 502–548	2016	10.1016/j.aim.2016.08.023
(4)	H. Matui	Topological full groups of etale groupoids	Abel Symposia	12	pp. 197–224	2016	

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・ 卒業研究 4名
- ・ 大学院修士 1名
- ・ 大学院博士 0名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

1. 微積分学 B1（普遍教育 前期 理学部数学・情報数理学科向け）
2. 現代解析 I（前期 理学部数学・情報数理学科向け）
3. 応用解析学特論（前期 理学研究科数学・情報数理学コース向け）
4. 微積分学 B2（普遍教育 後期 理学部数学・情報数理学科向け）
5. 数理解析学特論 I（後期 T4 理学部数学・情報数理学科向け）

(4) 国際会議出席と招待リスト

1. Geometric Analysis on Discrete Groups, 京都大学, 2016年5月30日から6月3日まで, Topological full groups of etale groupoids (招待講演)
2. MSJ-SI "Operator Algebras and Mathematical Physics", 東北大学, 2016年8月1日から8月12日まで, Poly-Z group actions on Kirchberg algebras (招待講演)
3. International Conference for the 70th Anniversary of Korean Mathematical Society, Seoul National University (ソウル), 2016年10月20日から23日まで, Topological full groups and C*-algebras (招待講演)

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等 (報道媒体, 報道年月日, 報道内容等)

なし

(6) 国際並びに国内学会での受賞 (賞名, その内容, 受賞理由等)

なし

(7) 国際共同研究 (共同研究名, 研究内容等)

なし

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

平成28年度科研費審査委員表彰

(9) 特許 (発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)

なし